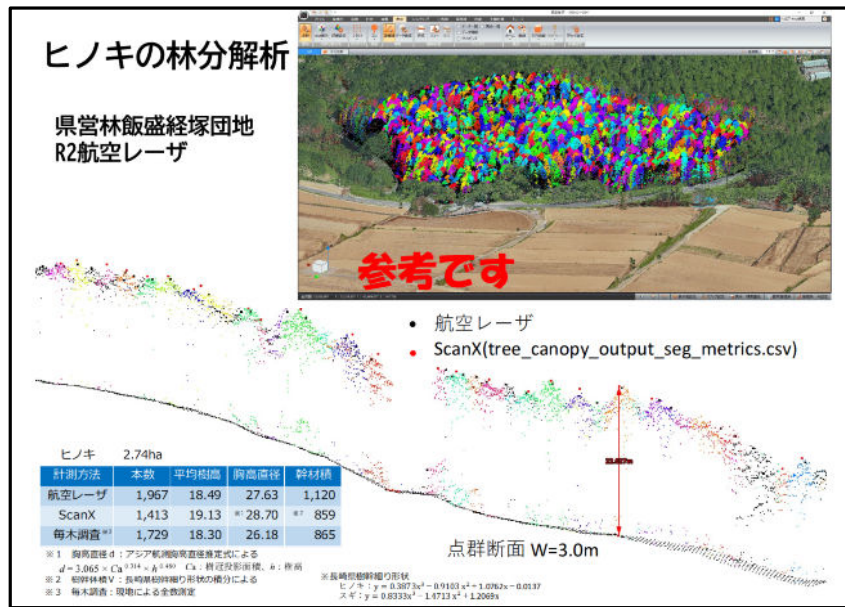


航空レーザで作成した立木本数データ

- 航空レーザ測量から得られた立木本数データは樹種によって誤差が異なったため、解析結果の活用手順を検討中である（当県のヒノキでは毎木調査と比較して航空レーザの解析結果が1.5倍であった事例もある）。



広葉樹の資源量把握

- 航空レーザ、ドローンレーザ、バックパックレーザの組み合わせによる資源量を把握できる。しかしながら手動計測では膨大な作業量となるため AI 計測を検討中。
- 併せて航空レーザによる空間体積のみで資源量を把握する手法を開発予定

